



そろばんは頭をよくする魔法の道具。

まさに秋ど真ん中！食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、勉強の秋、遊びの秋、ゲームの秋、そろばんの秋…と何をやるのにも適した時期です。暑くなく、そして寒くもなく、とても快適な気温だし、おまけに夜が長〜いので、私は読書&映画&音楽の秋にどっぷりとハマりそうです。皆さんはどんな秋をお過ごしですか？

さて、今回は「答え(数字)を記入する上での注意点」と「珠算式暗算」についてのお話です。

急ぐ気持ちは分かるけど…

答えを書く前にチョット待ったあ〜！

そろばん・あんざんの検定試験では、当然ながら鉛筆(またはシャープペン)を使い手書きで答えを記入しますが、採点側の視点からみると、これがなかなか大変というか、一筋縄ではいきません。せっかく頑張って正しい答えに辿り着いたのに(ソロバンの盤上には正しい珠が置かれているのに)、いざ答えを書こうとすると、つい気持ちが焦ってコンマを付け忘れたり、コンマの位置を間違えたり、間違えた答えを消し忘れたり…というケースが頻発します。受験する生徒たちは限られた制限時間のなかで必死に答えを書いているので、心情としては何とか正解にしてあげたいのは山々なのですが、残念ながらルールは非情です 😞 具体例をいくつか列挙しますが、実力はあるのにケアレス(不注意による)ミスが原因で検定試験に不合格してしまったらとても残念ですので、今回は数字の書き方についての注意事項をお伝えします。

答えを記入する際の基本ルール



◇ **二重書きした答えは✖**

学校ルールでは OK なのかも知れませんが、そろばん界ルールでは完全にご法度。一部でも二度書きすると ✖ になるので、訂正の際はすべての数字を書き直す必要があります。

そーなんだ！



◇ **消しゴムの使用は禁止**

訂正するときは全部の数字を横線で消す必要があります、一部分しか消していない場合は ✖ になります。

◇ **3 級以上の検定試験では、コンマが必須**

一見単純なことに思えますが、コンマ関連は間違いなくミスのナンバーワン。コンマの付け忘れ、コンマ位置のズレ、コンマが大きすぎて数字の 1 に見えてしまう場合などが目立ちます(4 級以下はコンマは不要)。

◇ **コンマと小数点がハッキリしない答えは✖**

これも本当によく見かけますが、左に払うのがコンマ、右にトメるのが小数点です。

➤ 一見すると厳しすぎるように感じるかもしれませんが、全珠連の検定ルールである以上、順守するしかありません。基本的には普段の練習から気を付けていれば、本番の試験でもそれほど慌てることはないでしょう。また答えの書き直しは、100%時間のムダ使いになるので、教室での練習の時から出来る限り、はやく&キレイに答えを書くように心掛けましょう。

下の答えは全て ✖



①② ふたつの答えを記入している ③④ 二重書きしている ⑤・⑥ 訂正した答えの一部が消されていない ⑦⑧⑨⑩ コンマの位置が正しくない ⑪⑫ コンマと小数点の区別が出来ない

①	= 4,567	消し忘れ	4,576	①②とも、どちらが答えなのか分からない	⑦
②	= 3894		387,452		⑧
③	= 346,521	6が二重書き		注意!	⑨
④	= 1,237,895,346	最初のコンマが二重書き			⑩
⑤	= 87,654,321 87,654,321	左の654が残っている			⑪
⑥	= 43657676 4,365,769	左の76が残っている			⑫

	= 683,558	コンマが数字の真下にある	
	= 2,1866,145		
	= 1'046'212'356	コンマが上過ぎる	
	= 3678645632	コンマが下過ぎる	
	= 3,487,737,682	右の二つは小数点?	
	= 17,892,63	ふたつとも小数点?	